

幡多の太陽

令和2年5月15日 第4号

11日より 学校再開

新型コロナウイルス感染症のために、3月4日より、土佐清水市内の小中学校も臨時休校措置をとっていました。3月の卒業式並びに4月の入学式は、式を短時間化・簡略化し、挙行いたしました。しかしながら、感染が拡大し、新学期が始まるとすぐ非常事態宣言が発出され、再び臨時休校措置をとらなければならないようになりました。4月の授業日もわずか4日間でした。

そして、連休明けを迎え…。各都道府県、各市町村によって違いはありますが、土佐清水市内の小中学校は5月11日から学校再開です。これからの状況によりどのようなようになるか分かりませんが、やっと令和2年度が本格的にスタートします。

コロナウイルス感染が早く収まってくれることを願うばかりです。

クジラ 復活!!

幡陽小学校を象徴するかのよう、力強く泳いでいるクジラが正門近くに設置されていることを皆様もご存知かと思えます。このクジラは、今から35年くらい前に3年がかりで卒業記念として建立されたものだそうです。中には、鉄筋が入っており、その周囲をセメントで塗り固め、塗装をして仕上げていました。とてもしっかり、そして美しく仕上げられていました。以前は、クジラの背中から潮(水道水ですが)を噴き上げていたそうです。しかしながら、長い年月と磯から打ち上げる潮風(塩害)により、中の鉄筋も錆びてしまい、表面のセメントもひび割れ、ところどころ剥がれ落ちてしまっていました。このような状態を見かね、竹村建設の協力も得て、連休期間中にPTAによる修復作業を行いました。まずは、溶接による鉄筋の補強・修復を行いました。2日目は、セメントで剥がれ落ちていた部分、ひび割れていた部分を修復しました。3日目は、セメントが固まっていることを確認し、ペンキで色塗りをしました。

見事な、そして、力強い泳ぎをしている幡陽小学校のクジラがPTAの力で復活しました。来校の際には、復活したクジラを是非ご覧ください。



① 尾は折れ曲がり、表面はあちらこちらが剥がれ落ちていました。



② 溶接することで以前のような力強い尾に!



③ 形ができました。剥がれ落ちた部分が目立ちます。



④ 剥がれた部分、ひび割れている部分にセメントを塗りこんでいきます。



⑤ 凹凸ができないように丁寧に。



⑥ いよいよ色塗りです。



⑦ 色鮮やかなクジラに仕上がってきました。



復活!!

きれいに修復してくれてありがとうございます。

